

(様式2-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書(案)

1. 整備計画													
計画の名称	静岡県における流域下水道による汚水処理の推進(防災・安全) 第2期(重点計画)												
計画の期間	平成30年度～令和2年度(3年間)			交付対象	静岡県								
計画の目標	県内処理区域内の生活環境の改善と公共用水域の水質保全に寄与している流域下水道施設の耐震化を図る。												
計画の成果目標(定量的指標)	総合計画(静岡県策定)に基づき1流域2処理区に係る施設について、耐震化率を38.9%(H29末)から77.8%(R2末)に増加												
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値			備考
										当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)	
①	耐震補強が必要な処理場施設のうち耐震補強された施設の割合 (計画期間最終年度末(R2)までに耐震補強が完了した棟数(14棟) ／耐震補強が必要な処理場の全棟数(18棟))									38%	61%	77%	
②													
③													
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,100 百万円	A	1,100 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%			
事業種別	主な交付 対象事業	要素となる事業名 (事業箇所)			事業内容 (延長・面積等)			市町名	全体事業費 (百万円)	備考			
下水道		水処理施設改築 (狩野川流域下水道東部処理区)			水処理施設耐震補強工事ほか			田方郡函南町	811				
事業数		水処理施設改築 (狩野川流域下水道西部処理区)			水処理施設耐震補強工事ほか			沼津市	198				
4		汚泥処理施設改築 (狩野川流域下水道西部処理区)			汚泥処理棟耐震補強工事ほか			沼津市	71				
2. 事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込 -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●:本計画の期間中に完成 ▲:本計画の期間終了後に完成見込)													
計画の移行なし	○	0	△	4	-	0	備考	計画の移行あり	●	0	▲	0	
3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況													
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・狩野川東部・西部浄化センターの水処理及び汚泥処理施設の耐震補強工事により、地震時における処理機能が確保された。											
II 定量的指標の達成状況	指標①(耐震補強が必要な処理場施設のうち耐震補強された施設の割合)	最終目標値	77%		目標値と実績値に差が出た要因	・「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」などを活用し、耐震補強工事の進捗を図ったため。							
		最終実績値	94%										
	指標②()	最終目標値			目標値と実績値に差が出た要因								
		最終実績値											
	指標③()	最終目標値			目標値と実績値に差が出た要因								
		最終実績値											
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		・狩野川東部・西部浄化センターでは、耐震化工事と同時に水処理及び汚泥処理施設の改築更新工事を行うことで、工事による処理施設への影響を最小限に留めるとともに、重複工事を減らすことでコスト縮減を図っている。											
4. 今後の方針等													
第3期整備計画(令和3年度～令和7年度)においても総合地震対策計画(下水道事業における地震対策に係る計画)に基づき、引き続き計画的な耐震補強を行うことで、地震時における確実な下水道処理機能の確保を図る。													